

先生方、こんにちは。今年度着任しました校長の大倉です。よろしくお願いいたします。

さて、与論中学校と本校は平成12年4月に連携型中高一貫校としての取り組みを始めて以来、今年度で25年目を迎えることになります。これまでの間に引き継がれてきたよい部分は残しつつ、変えるべき部分は失敗を恐れず改革して、全ては「生徒の成長」のために本年度はここにいる中高のスタッフで協力をさらに一層深めながら、取り組みを進めていただきたいと思っています。

私、中学校の入学式に臨席させていただいたときに、中学校の校歌を聴いて、「いいなあ」と思った部分があるんです。

「遠き祖先（みおや）の 恩愛（おんあい）を
若い生命（いのち）に うけつぎて」

というフレーズが2番にあるんです。与論の子どもたちは、先祖代々のお墓で眠っている先人たちからの愛情をたっぷり受けながら育つべき存在なのだと感じるんですね。決して根無し草にはならず、自分のルーツに誇りを持って、与論島にしっかりと根を張って、先人たちから栄養・愛情を吸収しつつ、自我を形成させていく。それを6力年かけてサポートし、18歳で島立ちさせていくのが、我々教職員の役割だと思うんです。

そこで先日、中学校の校長先生・教頭先生とも共通理解を図ったのですが、中高の先生方が中1から高3まで生徒の様子を普段から自由に見られるように、アポなしでも自由に授業参観等をし、お互いに気づいたことを共有して、中高それぞれの指導に活かしていければいいですねということになったのです。これは、乗り入れ授業をしている教科の先生だけでなく、全先生方が自由に双方の学校に日常から出入りできるということです。

中学校の先生方が、卒業させた生徒たちがどんな様子で高校の授業を受けたり、行事に参加しているのか、高校の先生方が入学する前の生徒たちがどんな中学校生活を送っているのかを実際に自分の目で見ることは、今後の指導に大いに役立つことだと思いますので、双方、行事予定等を確認しながら、訪問が迷惑にならない範囲内でなら何度でも積極的に行き来をして、それを「生徒の成長」のために指導に活かしてほしいと思います。

このあと、教科部会・領域部会等が続きます。短い時間ではありますが、活発な意見交換をよろしくお願いいたします。